



# 津幡南中だより

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粹さ

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 Tel288-7420

令和7年10月6日(月) NO.6



## 「 覧考古新 」

校長 田中 宏志

10月に入り、本年度も折り返し、10月1日(水)に後期生徒会役員と学級代議員の任命式がありました。10月6日(月)からは生徒会役員や学級役員が交代し、新しいリーダーにバトンが渡されます。この津幡南中学校を、今以上の活力あるより良き学校となるよう、学習や各種行事、部活動等により主体的に取り組んでいってほしいと強く願っています。

さて、令和7年度後期のスタートするにあたり、「覧考古新」という言葉を取り上げたいと思います。この言葉は、中国の古典「漢書（かんじょ）／除伝」にあり、「古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること」を意味しています。誰もが知っている「温故知新」と似ていますが、昔の事柄への接し方（覧古）や未来への思考度合い（考新）のどちらにも、より深くて強い意志が表されているように思います。

それでは、津幡南中学校の「覧古」とは何でしょうか？

校長先生は、君たちの生徒会を中心とした学校行事での主体的な活動を大切にする伝統がそれにあたると思います。9月26日(金)の運動会では、グリラ豪雨による日程変更をものとせず、3年生がリーダーシップを発揮し、1年生から3年生までの縦割りの集団をしっかりとまとめ上げてくれました。また、部活動における「あきらめない心」も津幡南中学校に受け継がれている伝統です。新人大会では、すべての競技を見ることができませんでしたが、1・2年生のみなさんは、壮行会で伝えた通り、一瞬一瞬に気持ちを込めて戦っていたと思います。しかし、これまでの伝統を受け継ぐだけでは、激しく変化する今の時代に対応することはできません。積み重ねてきた伝統を大切にしながら、「考新」→新しいことにチャレンジすることを忘れず、より良き津幡南中学校を創り上げていってほしいと思っています。

今の津幡南中学校は、学年が進むにつれ身体だけでなく心も成長し、周囲への気遣いもでき、中学校としてはとても良い状態です。前期に見ることのできた、先輩や仲間の頑張りや素敵な姿をしっかりと心に焼きつけ、前期に負けない後期につなげていってほしいです。

### ■■■ 前期生徒会役員の皆さん、お疲れ様でした ■■■

後期生徒会役員へバトンが渡されました。前期生徒会役員の皆さんには、津幡南中学校をより良き学校にするために、生徒議会などで真剣に考えたり、学校放送や各種行事に取り組んだりしてきました。

皆さんの熱い想いは、後期生徒会役員の皆さんに必ず引き継いでくれると思います。本当にお疲れ様でした。

【前期生徒会役員の皆さん】 14名（執行部+各委員長）

|          |           |          |          |
|----------|-----------|----------|----------|
| 会長：荻野 優月 | 副会長：谷川 蒼太 | 副会長：林 里吏 | 書記：山田 照  |
| 書記：中嶋日菜多 | 広報：藤澤 友哉  | 広報：岡本 実央 |          |
| 文化：佐野 遥斗 | 生活：櫻井 優羽  | 保健：北川 紗弥 | 給食：赤坂 悠真 |
| 体育：岸本 菜瑚 | 美化：倉知ななみ  | 図書：岡村 俐沙 |          |

★生徒指導より★

◇10月の生活目標◇

## 「何事にも積極的に取り組もう」

- ◆後期の係活動に積極的に取り組み、学校・学年・学級に貢献しよう。
- ◆学校行事と授業や部活動の両立に取り組もう。

今月は、テスト、校外活動、そして月末には合唱コンクールや学校祭があります。様々な場面でチャレンジするチャンスがあります。どんどんみんなさんの力を発揮していって欲しいと思います。

チャレンジをする上で大切なことを2つ確認しました。



### 1. 「自分の敵は、自分」

漫画「宇宙兄弟」からの言葉を紹介しました。  
諦めてしまうのも自分だし、さぼってしまうのも自分次第です。  
この一か月は、そんな弱い自分に打ち勝てるよう行動して欲しいと思います。

### 2. 「失敗してもいいんだ」という環境づくり

チャレンジし、失敗したときにバカにされたり、笑われたりすると悲しい気持ちになりますよね。  
クラス全員で、成功は称え合い、失敗は補い合える。そういう学級をつくりたいって欲しいと思います。

★学習指導より★

◇10月の学習目標◇

## 自主的な学習を進めよう

**授業** ベル学習の質を高めよう **家庭** 時間を決めて取り組み、内容の充実を図ろう

### 1. スキマ時間を活用して学習時間を増やそう！

1日に1時間半の家庭学習で、中間テストの教科の授業と同じだけ学習することができます。その積み重ねが大きな差となっていくのですね！学年+1時間を実践すれば、授業だけ取り組んだ人に比べて1年生は2.3倍、2年生は3倍、3年生はなんと約3.7倍！！家庭学習の大切さが感じられましたね。

中間テストの5教科 = **665** 時間<sub>(3年)</sub>

$665 \times 50\text{分} = 33,250\text{分}$

$33,250\text{分} \div 365\text{日} = 91.09\text{分}$

### 2. 家庭学習では、メディアコントロールに努めよう！

家庭学習においては、三点固定とメディアコントロールが重要です。学習開始時刻を設定するのと同時に実施時間も決めて取り組みましょう。テレビやゲーム、ネットなど様々なメディアに触れる時間も同じように開始時刻と使用時間を予め決めるようにしましょう。テストに向けて自身の弱点を整理し、家庭でも学習を頑張ろう！

